

# 追い詰められる政権

総審議時間			審議中断にともなう速記中止時間	
参院	回数	時間	(分)	
7月28日	6	0:09	0	10
7月29日	4	0:07	0	10
7月30日	3	0:03	0	10
8月3日	1	0:00	0	10
8月4日	5	0:05	0	10
8月5日	2	0:04	0	10
8月11日	6	0:12	0	10
8月19日	13	0:29	0	10
8月21日	7	0:03	0	10
8月25日	16	0:39	0	10
8月26日	14	0:34	0	10
63時間11分	77	2時間25分	0	10
衆院				
110時間11分	111	4時間43分		

8/29  
本誌

## 審議紛糾は深刻化の一途

「速記を止めて」が日常茶飯事に

参院での戦争法案の審議 ことに深刻化しています。開始から1カ月を経て、政府の答弁は混迷を極めていす。参院では衆院段階よりも野党側の質疑割り当て時間が大幅に減っているにもかかわらず、担当相の答弁不能などによる審議中断(速記中止)は早くも77回に達するなど、審議を重ねる参院はこれを大幅に上回るペースで審議中断が頻発しており、鴻池祥肇(こうのいけ・よした)委員長(自民)が「速記を止めてください」と指示する場面が日常茶飯事となっています。しかも、担当相と与党官僚による答弁調整のため、中断時間は日を追うごとに拡大(グラフ)。25日

はテレビの中継中にもかかわらず、民主克・福山哲郎議員の、「存立危機事態」における自衛隊の安全確保に関する質問に中谷元・防衛相が答えられず、繰り返して中断。鴻池委員長が「これ以上かみ合わない議論が続くと、時間を無駄にする」と、政府側が「善処」するまで、委員長預かりで引き取る異例の事態となりました。

法案の内容面でも、ほととびは拡大する一方です。衆院段階では、違憲性と自衛隊のリスク論を中心に審議が展開。参院ではこれらに加え、政府の想定事例の非現実性や、法案の無限定性、「法的安定性は関係ない」とした磯崎陽輔首相補

佐官発言などの論点が浮上しました。日本共産党・小池晃議員の自衛隊内部資料の暴露(11日)によって、途中散会に追い込まれた日もあります。一方、与党側は、割り当て時間が増えたにもかかわらず、質疑で取り上げるのは中国・北朝鮮の「脅威論」ばかりです。相次ぐ紛糾による審議日程の遅れで、安倍政権は確実に追い込まれています。9月後半には自民党総裁選や首相の外遊が控えており、中旬までの成立が狙われていますが、参院安保特の理事会は28日、来週(審議日程)について何も合意できないまま散会。思惑は大きく外れています。

